

茶情報

発行所

三重県津市桜橋1丁目649番地

三重県農業共済会館内

TEL (059) 226-8551

FAX (059) 227-9654

三重県茶業会議所

No. 157号

目次

1、平成23年度通常総会	1
2、平成22年度事業報告	2
3、三重県茶業会議所 代議員・役員名簿	5
4、平成23年4月以降の活動	6
5、全国お茶まつり・関西茶業振興大会・伊勢茶振興大会日程	8
6、この写真(2)	9
7、平成23年度茶業振興費徴収方法について	12

平成23年度通常総会

平成23年度通常総会は、6月15日(水)13時30分から三重県農業共済会館3階大会議室で、三重県会議長 山本教和氏を初め多くのご来賓のご出席をいただき開催しました。上程された議案は全て承認されましたがその概要について記載します。

23年度事業方針

(基本方針)

緑茶は、歴史と伝統によって育まれ深く慣れ親しまれている大切な飲物です。また健康志向の高まりと生活様式の簡便化から健康飲料として見直され、ペットボトル茶は急激な伸びを見せました。その一方でリーフ茶の需要は依

然として消費低迷が続いており、全体として茶の消費は低迷基調にあります。

また23年3月11日の東日本大震災に伴う福島原子力発電所の事故の影響は地域の生活実態を大きく変え、お茶にもその影響が及び茶生産農家はもとより茶業界全体への影響が危惧されるところとなっています。

しかし飲用としてのお茶が人体に及ぼす放射能の影響については正確な情報を消費者の皆様を提供することに努めていく必要があります。

こうした情勢であるがゆえに消費者の食の安全に対する関心は益々高まっており、生産者のもとより

関係者は消費者の信頼に応えうる生産、流通体制を一層充実する必要があります。

そのため「伊勢茶リフレッシュ運動」として新植・改植をさらに推進するとともに、新たな販路の開拓や生産履歴の記帳、とりわけ放射能汚染の防止対策や残留農薬の無い安全・安心なお茶づくり、製茶工場の衛生管理の実践に取り組んでまいります。

また、伊勢茶の情報発信基地のひとつとして茶業会議所のホームページを立ち上げ、広く情報を提供してまいります。

(重点事業)

1 「伊勢茶リフレッシュ運動」

推進事業(継続・新規)

茶園新植・改植推進10ヶ年計画に基づき、23年度から実施が見込まれている国の新規事業を

取り入れ新たな「改植奨励金」

として交付し、「伊勢茶リフレッシュ運動」の効果的な推進を図る。尚、当該事業の適用外となる「新植・改植」については引き続き継続事業の中で対応する。

2 「安全安心な伊勢茶づくり運動」推進事業(継続)

消費者の食品の衛生管理や食品表示に対する監視は厳しいことから、消費者の信頼を得る茶生産が重要であり、昨年度に引き続き11茶工場を指定し生産履歴の記帳と併せて、茶加工場の衛生管理や適正規範(GAP)の推進を図る。

3 伊勢茶リーフの需要拡大事業(継続)

「淹れ方教室」を主体に、リーフ茶の需要拡大を図るとともに、小中学校生を対象にした「お茶でうがい運動」を追加し、伊勢



山本教和県議会議長ご祝辞

茶のPRを行う。

◆「淹れ方教室」

(1) 高等学校を対象とした「伊勢茶の淹れ方教室」

(2) 一般グループを対象とした「伊勢茶の淹れ方教室」

(3) イベント等での「伊勢茶の淹れ方教室」

(4) 伊勢神宮「伊勢茶接待所」開設

以上の事業については、県茶業青年団、県茶生産青年会、日本茶インストラクター三重県支部の協力を得て実施する。

◆「お茶でうがいを運動」地域の茶業組合が中心となり、



中嶋 正会頭 挨拶

市町や関係団体の協力を得て取り組む。

(一) 一般事業

4 第39回伊勢茶品評会・伊勢茶振興大会開催事業(継続)

伊勢茶品評会は茶生産技術の向上と良質伊勢茶の発揚の場であるので、関係機関の協力を得て継続実施する。

5 伊勢神宮「伊勢茶」奉納事業(継続)

今年で8回目となるが、新聞、テレビ等でのPR効果は大きく、引き続き実施する。

6 伊勢茶認証店支援事業(継続)

伊勢茶認証店を新たに認定し、パンフレット、ポスター等を配布し、伊勢茶銘柄販売を促進する。

(ホームページ作成費を含む)

7 後継者等育成組織助成事業(継続)

後継者育成の重要性に鑑み、後継者等育成組織の活動を支援助成する。

(県茶業青年団、県茶生産青年会、県手もみ茶技術伝承保存会、日本茶インストラクター協会三重県支部)

8 地域茶業組合等活動助成事業(継続)

地域に於ける「環境にやさしい安全安心な伊勢茶づくり運動」「伊勢茶リフレッシュ運動」や「伊勢茶リーフの需要拡大事業」への取り組みを強化するため茶業組合等の活動費として助成する。また支援額の20%以上を「お茶でうがいを運動」に特定した取り組みとする。

9 茶情報等の発行(継続)
茶情報(年2回)及び技術情報等を発行する。

平成22年度事業報告

緑茶系ペットボトルの需要の増加傾向は少し足踏み状態ですが、リーフ茶としての消費は、依然として減少傾向にあります。

しかし消費者の食の安全に対する関心が高まっており、生産者もとより関係者は信頼に応えうる生産、流通体制の充実を図る必要があります。

平成22年度は3月後半の寒波による凍霜害で早場の産地は大きな被害を蒙りましたが、三重県は局

所的には大きな被害が発生したものの総体的には順調な生育で推移しました。そのため初出荷時の高値は見られたものの、需要の減退傾向は変わらず、その後の2番茶以降の価格は昨年よりも安値で推移しました。

ただ秋冬番茶の需要は多く昨年の140%程度の伸びを見ました。

こうした販売経過の中、茶業会議所は、販路拡大の取り組みとして「県民の日」の伊勢茶喫茶の開

店、「安全・安心なお茶づくり」の取り組みとして11茶工場の指定と具体的な管理指導や研修会の開催等実践的な活動に取り組みました。

また国や三重県に対し、茶生産対策に対する支援について陳情・要請しました。

具体的な取り組みは次のとおりです。

実施事業 (重点事業)

1 「伊勢茶リフレッシュ運動」

推進事業 (継続)

茶園新植・改植推進10ヶ年計画に基づき、昨年に引き続き10a当り1万円を上限に「新植・改植奨励金」として助成し、「伊勢茶リフレッシュ運動」の円滑且つ効果的な推進を図りました。

2 「安全安心な伊勢茶づくり運動」

推進事業 (継続)

消費者の食品の衛生管理や食品表示に対する監視は厳しいことから、消費者の信頼を得る茶生産が重要であり、今年度から指導対象を11指定工場に重点化し生産履歴の記載と併せて、衛

生管理や適正規範(GAP)の推進を図りました。

このほか、推進委員と指定工場の生産農家で先進地視察を実施しました。

(静岡県掛川市等 1月18日)

3 伊勢茶リーフの需要拡大事業 (継続)

「淹れ方教室」を主体に、リーフ茶の需要拡大を図るとともに、小中学校生を対象に「お茶でうがい運動」を追加し、伊勢茶のPRを行いました。

○ 高等学校を対象とした「伊勢茶の淹れ方教室」

平成22年11月11日～23年3月16日まで27高等学校延べ1,138名を対象に実施しました。

○ 一般グループを対象とした「伊勢茶の淹れ方教室」

「伊勢茶の淹れ方教室」

○ イベント等での「伊勢茶の淹れ方教室」等

○ 「県民の日」記念事業

三茶館をオープン

平成22年4月17日(土)

(三重県総合文化センター)

野外イベントのグルメゾー

ンにて、伊勢茶を味わえるカフェ「三茶館」を開催した。

会場はオープンカフェで、沢山の客で賑わいました。

○ 第38回伊勢茶品評会入賞茶の試飲会

平成22年11月2日(火)三

重県茶業会議所と日本茶インストラクター協会三重県支部の共催で第38回伊勢茶品評会入賞茶の試飲会を三重県庁県民ホールで開催し、伊勢茶の3茶種(普通煎茶、深蒸し煎茶、かぶせ茶)を来庁者に振舞いました。

○ 第10回茶王大谷嘉兵衛翁まつりの開催

平成22年11月23日勤労感謝の日(三重県の南西部に位置する松阪市飯高町川俣(かばた)地区にある休校中の川俣小学校で第10回茶王大谷嘉兵衛翁まつりが開催されました。

「手もみ茶技術伝承保存会」のメンバー13名が3台の焙炉(ほいろ)を使い、手もみ茶を作りました。

出来たお茶は清風流の茶人のお手前で茶王大谷嘉兵衛翁の遺影に献上しました。

○ 平成23年新年の手もみ茶を伊勢神宮外宮に奉納。

新年の手もみ茶と県下7地区のお茶を奉納しました。

新年初もみ会

1月26日(水)

伊勢神宮(外宮)奉納

1月27日(木)

○ 伊勢神宮「伊勢茶接待所」開設

平成22年12月31日～23年1月3日の4日間茶業青年団と茶業生産青年の総勢30名で伊勢茶を振舞いました。

以上の事業については、県茶業青年団、県茶生産青年会、県手もみ茶技術伝承保存会、日本茶インストラクター協会三重県支部の協力を得て実施しました。

○ 「お茶でうがいを運動」

地域の茶業組合が中心となり、市町や関係団体の協力を得て取り組みました。

(一般事業)

4 第38回伊勢茶品評会・伊勢茶

振興大会開催事業(継続)

伊勢茶品評会

出品点数241点(内訳 普通煎茶91、深蒸し煎茶77、かぶせ茶73)

審査会 9月2・3日成分
分析、9月15・16日官能審査・
価格審査

伊勢茶振興大会

開催 平成22年12月14日午
後1時30分

三重県総合文化センター文
化会館小ホール

茶業功績者5氏と優秀出品茶
を表彰し、大会宣言の承認と
「赤福」の田中達男品質保証部
長から安全安心の取り組みの記
念講演会を開催。

5 伊勢神宮「伊勢茶」奉納事業 (継続)

4月21日午前10時から中嶋正
会頭と中森手もみ茶技術伝承保
存会会長を先頭に総勢25名で県
内の茶産地から奉納された約5
kgの新茶を伊勢神宮に奉納し、
日頃の感謝と茶業の盛況を祈願
しました。

6 伊勢茶認証店支援事業 (継続)

伊勢茶銘柄販売を促進するた
め、平成7年度より実施した認
定事業をリニューアルし平成23
年度に実施するため、実態調査
に取り組みました。

7 後継者等育成組織助成事業 (継続)

後継者育成の重要性に鑑み、
後継者等育成組織の活動を支援
しました。

県茶業青年団

県茶生産青年会

県手もみ茶技術伝承保存会

日本茶インストラクター協会三
重県支部

8 地域茶業組合等活動助成事業 (継続)

地域に於ける「環境にやさし
い安全安心な伊勢茶づくり運動」
「伊勢茶リフレッシュ運動」や
「伊勢茶リーフの需要拡大事業」
への取り組みを強化するため茶
業組合等の活動費として助成し
ました。

今年度は特に支援額の20%を
限度に「お茶でうがい運動」
に特定して取り組みました。

9 茶情報等の発行 (継続)

茶情報 (年2回) 及び技術情
報等を発行した。

平成22年7月5日 155号
平成23年1月25日 156号

平成22年度 品評会 概要

1 第64回全国茶品評会 (開催
地 奈良県)

今年の品評会審査会は8月24

日(火)・27日(金)の4日間
奈良市の県農業協同組合広域茶
流通センターで開催された。本
県からは普通煎茶37点、深蒸し
煎茶20点、かぶせ茶18点の合計
75点が出品され審査の結果は次
のとおりでした。尚、本県から
は中嶋会頭、県茶業研究室磯部
室長が審査員として参画されま
した。

2 第63回関西茶品評会 (開催地 京都府)

今年の品評会審査会は平成22
年8月3日(火)・5日(木)
の3日間宇治市の京都府茶業セ
ンターで開催された。本県から
は、普通煎茶112点、深蒸煎茶49
点、かぶせ茶19点の合計180点が
出品され43点が入賞しました。
茶種別入賞点数並びに特別賞は
次のとおりです。尚、本県から
は堤副会頭、茶業研究室の松ヶ
谷主幹、中央普及センター丹羽
主幹、生産青年会松倉代表が審
査員として参画されました。

3 第38回伊勢茶品評会

平成22年度の伊勢茶品評会は、
普通煎茶91点、深蒸し煎茶77点、
かぶせ茶73点の合計241点が出品
され、9月2・3日に県茶業研

究室で成分分析を、引き続いて
9月15・16日に専門審査員19名、
一般公募の体験審査員3名によ
り官能審査・価格評価審査が行
われました。



三重県茶業会議所

伊勢茶

このページのURLを覚えておいて、お茶の味をよりよく楽しむために活用してください。

http://www.mie-isecha.org



三重県茶業会議所のホームページを開設しました。

ホームページアドレスは下記の通りです。

伊勢茶に関する情報を発信します。

<http://www.mie-isecha.org>

三重県茶業会議所 代議員・役員名簿

任期：H23年 6月～H26年 6月

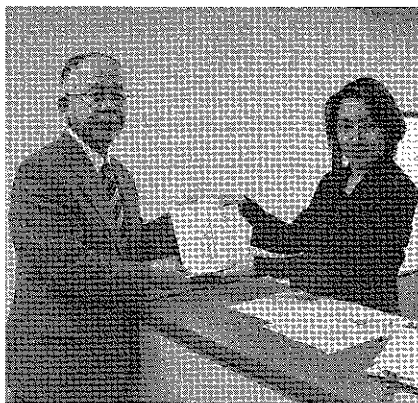
構成団体名	代議員	内役員	代 議 員 名	役 員 名
全農三重県本部	2	1	田中利宣・和田良美	田中利宣（副会頭）
県茶商工業協同組合	4	3	中嶋 正・川原 登・平山義則・清水克司	中嶋 正（会頭） 川原 登 平山義則（監事）
水沢茶農業協同組合	2	1	堤 利道・大野博司	堤 利道（副会頭）
亀山茶農業協同組合	2	1	中尾利光・宮崎直紀	中尾利光（副会頭）
桑名市茶業組合	1	1	伊藤公一	伊藤公一
いなべ市 大安町茶生産組合 北勢町茶業組合	2	1	水谷栄治・川瀬俊司	水谷栄治
菰野町茶生産組合	3	1	山下昌美・小林 弘・坂倉 正	山下昌美
四日市茶業連合会	10	4	原 藤雅・井口信之・安田圭太・萩村重美 古川真幸・森川浩明・鎌田俊治・豊田栄之 小林賢二・本郷圭三	原 藤雅・井口信之 安田圭太 萩村重美（監事）
鈴鹿市茶業組合	8	4	市川浩美・水野憲志・佐野智和・本郷利和 内山勝之・彰子政和・伊藤喜巳・伊藤圭介	市川浩美・水野憲志 佐野智和・本郷利和
亀山市茶業組合	3	2	伊達亀嘉・駒田六平・市川泰三	伊達亀嘉・市川泰三
関町茶業組合	1	1	柏木専茂	柏木専茂
芸濃町茶生産組合	1	1	竹尾和郎	竹尾和郎
久居・一志茶業組合	3	1	村木重和・日置高司・菅尾栄祐	村木重和
松阪市茶業組合	4	2	中角 徹・村瀬成郎・松本 浩・高橋 徹	中角 徹・村瀬成郎
多気町茶業組合	3	1	竹内 努・大嶋博文・大西正巳	大西正巳
大台町茶業組合	4	2	上嶋 親・松田典久・中西一浩・上岡国彦	上嶋 親・松田典久
松阪市茶商組合	3	2	杉本光子・塚本重夫・杉本怜子	杉本光子・塚本重夫
伊勢市茶商組合	1	1	永井一誠	永井一誠
大宮町茶業組合	1	1	西村敏博	西村敏博
度会町茶業組合	3	2	大西 保・玉村肇久・喜多嘉一	大西 保 玉村肇久（監事）
伊賀茶業組合	2	1	界外平一・中井太郎	界外平一
県茶業青年団	1	1	土谷 英	土谷 英
県茶生産青年会	1	1	鎌田俊充	鎌田俊充
県手もみ茶技術伝承保存会	1	1	中森 慰	中森 慰
学識経験者	1	1	種岡 優	種岡 優（常務理事）
計	67	38		

平成23年4月以降の活動

◇東日本大震災災害地域へ

義援金を送付

去る3月11日発生しましたマグニチュード9という今まで経験したことのない大地震が起き、またこれに伴い大津波が関東の一部を含む東北地方3県を襲う大災害が発生し多くの住民が津波の犠牲になり、また地域は壊滅的な惨状を呈し、今尚余震が続くなど言語絶するものがありますが、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げ一刻も早い



中日新聞社にて

復興をお祈りするばかりです。

さて、災害地の支援の一助になればとの考えから、このたび理事会の決定を得、被災地に対し中日新聞社を通じ、去る4月5日に茶業会議所は20万円の義援金を送金しました。

また同様の趣旨で、三重県手もみ茶技術伝承保存会は同日5万円の義援金を送金いたしました。

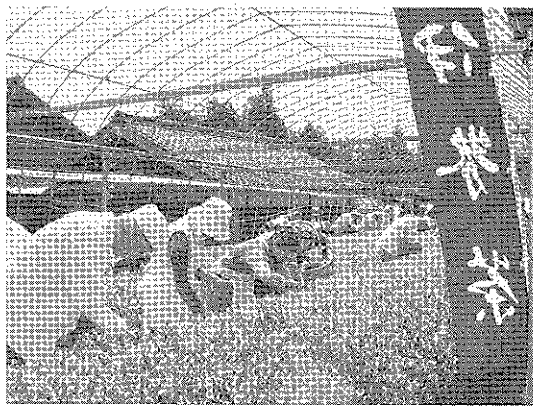
◇新茶初もみ会を開催

平成23年4月19日(火)三重県手もみ茶技術伝承保存会の皆様と大台町茶業組合の組合員が中心に、大台町長も参加され、早朝より大台町の神瀬ハウス茶園の新茶を摘採しました。

この新茶は、大台町の共同製茶工場で荒茶に加工され、また手もみ茶技術伝承保存会の皆様が三重県の南勢茶試験地の加工

施設をお借りし「手もみ製茶」を作りました。

このいずれのお茶も、4月26日に伊勢神宮内宮に伊勢茶の新茶として奉納しました。



新茶初もみ会で新芽を摘む会員ら

◇伊勢神宮に新茶を奉納

新茶のシーズンを迎え、去る4月26日(火)、8回目を迎えることになりましたが、伊勢神宮に伊勢茶を奉納しました。

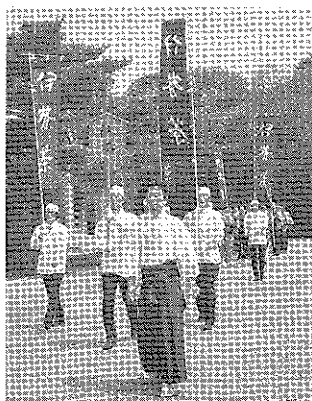
当日は、前日の寒さも忘れ朝からさわやかな晴天に恵まれ、午前10時半から中嶋正会頭と中森慰手もみ茶技術伝承保存会会長を先頭に県内の茶産地から奉納された約4kgの新茶を3名の茶娘や伊勢茶の幟を掲げ20数名の

関係者が同行し、伊勢神宮(内宮)本殿に奉納いたしました。

このお茶は去る4月19日に初摘みし、その日に手もみ茶技術伝承保存会の皆さんが丹念に仕上げた手もみ茶と県下の主要産地の新茶をあわせたもので、日頃の感謝と茶業の盛況を祈願し、引き続き神楽殿でお神楽を舞い新茶を奉納しました。



神楽殿にて



伊勢茶の幟を立てて新茶を奉納



新茶初市の様子

市場名	全農 南勢茶センター	全農 北勢茶センター	水沢茶 農協	亀山茶 農協
上場点数	8	7	11	5
上場数量 kg	41.0	16.0	75.0	55.0
最高 値円	33,300	15,000	35,000	15,000
平均 値円	16,290	13,062	16,309	12,160
備考	平成23年 4月28日	平成23年 5月2日	平成23年 4月29日	平成23年 5月4日

◇平成23年産茶初市を開催

◇平成24年度関西茶業振興大会が三重県松阪市で開催されます。

そのため23年度から同大会の準備委員会が立ち上げられ、去る5月20日（金）津市の吉田山会館で初会合がありました。当会議所からは、中嶋会頭と堤副会頭が出席されました。

◇平成23年6月22日に三重県における荒茶の放射性物質の測定結果が公表されました。

下記参照

◇H23年産一番茶の生産状況について
三重県中央農業改良普及センター情報

平成23年6月28日現在
【生産状況について】

本年は凍霜害はなかったものの、萌芽前から5月上旬までの生育期間を通じ少雨・低温気味で経過したため、収穫時期は前年より7～10日程遅くなりました。
各産地とも収穫始めは芽重型傾向が強く大幅な減産で始まり、この減産傾向は中盤まで続きましたが、その後は適度

文部科学省から受託している荒茶の放射性物質の測定結果について

平成23年6月22日
農畜産室
農産物安全室

1 報告内容

- (1) 文部科学省から三重県が受託している放射性物質の測定調査（※）により、マダイとアサリに続いて、荒茶の測定を行ったところ、結果が判明しましたので報告いたします。

（測定結果）

品名	放射性セシウム
荒茶（亀山市）	7.70 ベクレル/kg
荒茶（大台町）	9.13 ベクレル/kg

※文部科学省は、核爆発実験や原発施設等からの放射能物質の影響を正確に評価するため、昭和63年から全都道府県で環境放射能調査として、降雨、土壌、河川水、農水産物等に含まれる放射性物質の測定を行い、毎年度公表しています。三重県でも、この調査を受託し、三重県保健環境研究所で毎年度実施してきており、これまでマダイや荒茶において、微量の放射性セシウムが検出されていますが、健康に影響を及ぼすレベルではありません。

- (2) 今回、検出された値は、食品衛生法に基づく荒茶の暫定規制値（500ベクレル/kg）に比べても極めて少ないことから、健康に影響を及ぼすレベルではありません。

なお、これまで過去に行われた核実験の影響等により、過去の県内の荒茶からも、微量な放射性物質が検出されてきています。

荒茶 検出限界未満～1.72ベクレル/kg（平成元年～21年測定結果）

の降雨もあったことから反収は増加し、収穫量は増加に転じました。
以上の状況から最終的に生産量は北勢地域で前年より15%程度の増、南勢地域では6%増となりました。
【販売単価について】

一番茶の平均単価は、前年より5～10%低くなりました。
【二番茶の生育状況について】
本年一番茶の生育・摘採が遅れ、一番茶終了後も気温が低めに推移したこと、二番茶生育が遅く、摘採開始が遅くなりました。

全国お茶まつり・関西茶業振興大会・伊勢茶振興大会日程

○第65回全国お茶まつり鹿児島大会（開催県：鹿児島県）

主 な 行 事	日 程	会 場
出品茶審査会	平成23年 8月23日(火)～26日(金)	かごしま茶流通センター（鹿児島市）
出品茶入札販売会	平成23年 9月29日(木)	かごしま茶流通センター（鹿児島市）
茶審査技術競技会	平成23年11月11日(金)	かごしま茶流通センター（鹿児島市）
全国茶業青年の夕べ	平成23年11月11日(金)	ホテル京セラ（霧島市）
全国お茶まつり式典	平成23年11月12日(土)	霧島市市民会館（霧島市）
出品茶等展示	平成23年11月12日(土)～13日(日)	霧島市国分シビックセンター（霧島市）
産地視察	平成23年11月11日(金)～12日(土)	出品茶園（霧島市）
茶産地交流会	平成23年11月11日(金)	霧島市内ホテル（霧島市）
消費拡大イベント	平成23年11月12日(土)～13日(日)	霧島市国分シビックセンター（霧島市）

○第64回関西茶業振興大会（開催府県：愛知県）

主 な 行 事	日 程	会 場
出品茶品評会審査会	平成23年 8月 3日(水)～ 5日(金)	西三河農業協同組合事務センター （西尾市斉藤町上吹11-1）
出品茶入札販売会	平成23年 9月 7日(水)	ウインクあいち （名古屋市市中村区名駅4丁目 4-38）
関西茶業振興大会褒賞授与式	平成23年11月19日(土)	西尾市文化会館（西尾市山下町泡原30）
関西茶業振興大会出品茶展示会	平成23年11月19日(土)	西尾市文化会館（西尾市山下町泡原30）

○第39回伊勢茶振興大会

主 な 行 事	日 程	会 場
伊勢茶品評会審査会	平23年 9月14日(水)～15日(木)	三重県農業研究所茶業研究室 （亀山市椿世町992-2）
伊勢茶振興大会	平成23年12月15日(木)（予定）	三重県総合文化センター （津市一身田上津部田1234）

この写真(2)

元会議所常務 高瀬 孝二

1、大正昭和初期の茶園風景

安政6年、横浜開港で外国との貿易が開始されると、お茶は生糸と並んで重要な輸出品となった。当時、伊藤小左衛門、駒田作五郎、竹川竹斎、大谷嘉兵衛などが茶輸出を奨励したことから茶園面積は飛躍的に拡大し、茶栽培は県下全域に及び、明治20年の統計では三重県の茶園面積は4,000haを超えている。この写真は主に大正初期に撮影された茶園風景である。



○桑名郡多度村磯貝源八氏の茶園

現在では桑名市多度町には殆ど茶園は見当たらないが、明治昭和初期には多度山麓一帯では茶栽培が盛んであった。しかし昭和に入ってから茶貿易が衰退すると桑畑に変わり、戦後はみかん栽培が盛んになり茶園は殆ど姿を消した。この写真は、大正3年頃に撮影されたものである。

多度村磯貝源八氏の茶園
—大正3年頃撮影—



○三重郡海蔵村共同製茶場の協業茶園

海蔵村(現四日市市西阿倉川)では、大正3年設立された参加農家13名、手もみ焙炉50台、年間製茶量二千貫の共同製茶場で、茶園も共同で管理されていた。この写真は、大正8年ころ撮影されたもので、県下の模範茶園として視察者が絶えなかったと記述されている。

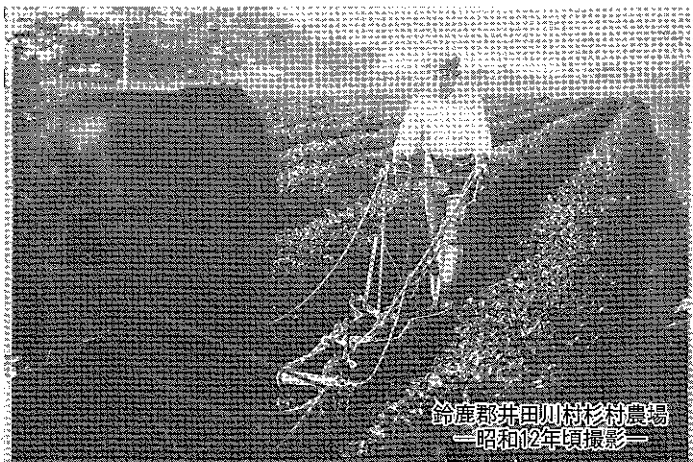
海蔵村共同製茶場茶園
—大正8年頃撮影—



○鈴鹿郡井田川村杉村農場

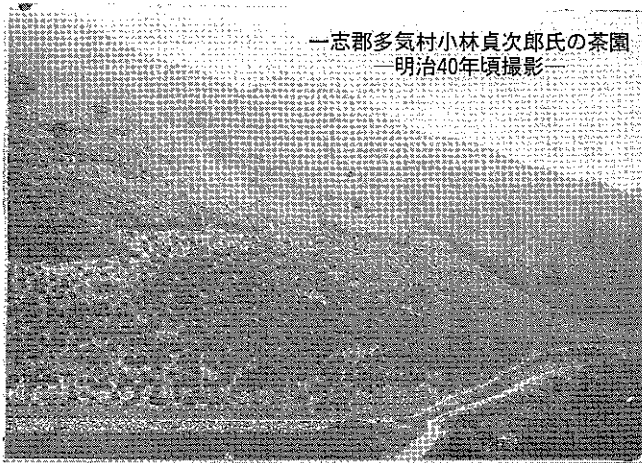
鈴鹿郡井田川村(現鈴鹿市井田川)の杉村農場では戦前から大規模茶業経営を実践し、省力を前提とした茶園づくりを行ってきたが、この写真は役牛を使って畝間の中耕を行っているもので、昭和12年頃に撮影されたものである。

鈴鹿郡井田川村杉村農場
—昭和12年頃撮影—



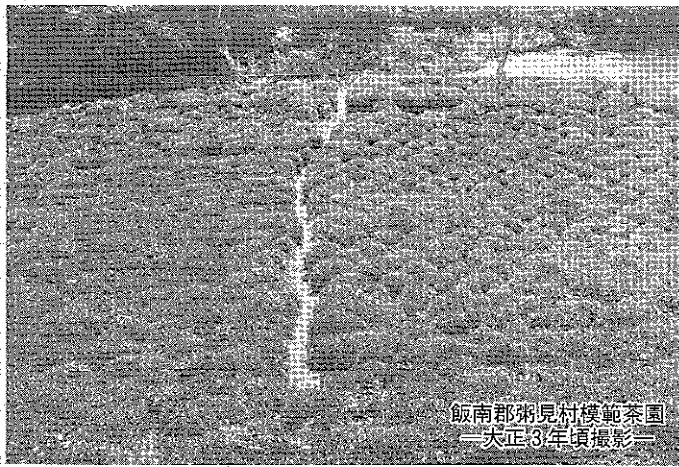
○一志郡多気村小林貞次郎氏の茶園

一志郡多気村（現津市美杉町）は江戸時代から茶栽培が盛んであったが、山間で土地が狭隘なことから山の傾斜地を利用して茶が栽培された。いわゆる「茶山」である。現在ではこれらの茶山は植林され杉や檜林になっているが、中南勢地域の山には、よく茶の自生株が見られるのは茶山の名残である。この写真は明治40年頃に撮影されたものである。



○飯南郡粥見村の模範茶園

櫛田川上流部の粥見村（現松阪市飯南町）は江戸時代に伊勢商人によって江戸で販売された事績があり、古くから南勢屈指の茶産地であったが、茶園の殆どは山の傾斜地に作られた茶山であった。この写真は明治37年に県茶業組合聯合会議所が指定した模範茶園で、大正3年頃撮影されたものである。



○飯南郡川俣村の茶園

櫛田川上流部の飯南郡川俣村（現松阪市飯高町）は鎌倉初期に明恵上人が茶を伝えた伊勢茶発祥の地として古くから茶業盛んで、徳川紀州藩の御料茶園として、また大谷嘉兵衛出生の地として知られているが、川俣村も山間狭隘地で、茶も山の傾斜地を利用して栽培された茶山であった。この写真は、大正3年頃撮影されたもので、当時は山の傾斜地には殆ど茶が植えられていた。



○志摩郡鵜方村前田嘉平氏の試験茶園

志摩地域での茶業は江戸後期の安政年間に始まると言われているが、特に大正時代に入ると紅茶の栽培が盛になり、大正9年の全国製茶品評会では紅茶の部で農林大臣賞を受賞した実績がある。この写真は県茶業試験所の委託を受け作られた紅茶茶園で、昭和12年頃に撮影されたものである。



○名賀郡美波多村山中市次郎氏の茶園

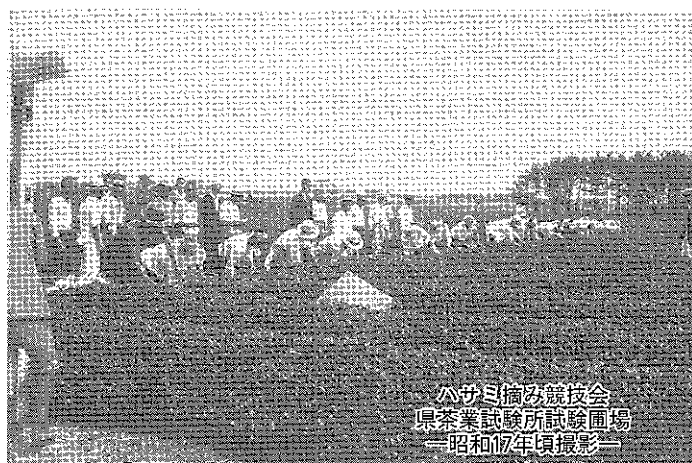
伊賀地方への茶伝来は鎌倉初期で明治時代までは茶の主産地を形成していたが、輸出茶の衰退と共に茶園は桑園に転換され、現在ではわずかな茶園しか残っていない。

この写真は、大正12年頃撮影されたもので、当時の伊賀茶業の隆盛を伺わせる。



2、ハサミ摘み競技会風景

県茶業組合聯合会議所は明治37年頃から県下各地に模範茶園を設置し、成園を待ってハサミ摘みの普及を図った。ハサミ摘みが普及しだしたのは大正5年頃からであるが、省力化を推進する会議所は各地ではさみ摘み競技会を開催した。この写真はハサミ摘み競技会の風景であるが、現在の乗用型摘採機を彷彿させるものがある。



3、伊勢神宮奉納茶の製造

伊勢神宮への伊勢茶奉納は戦前にも行われていたが、その詳細な記録は見当たらない。

この写真は飯南郡粥見村有間野の森本一郎氏茶園での奉納茶摘みと製茶風景である。写真では読み難いが、拡大鏡で見ると「伊勢皇大神宮伊勢茶奉納」の字が読み取れる。



平成23年度茶業振興費徴収方法について

三重県茶業会議所茶業振興費徴収規定

三重県茶業会議所（以下「会議所」という。）の運営並びに事業推進のため茶業振興費を次により徴収する。

1. 茶業振興費の賦課金

三重県内で生産された荒茶 1 kgについて

荒茶割（県内県外を問わず売手） 3 円、買入割（県内県外を問わず買手） 3 円

2. 徴収方法等

(1) 県内茶市場で取引した茶

荒茶割 3 円、買入割 3 円を茶市場が徴収代行し、6 円を茶市場が会議所に納入する。

ただし、徴収額がその年度の茶市場荒茶取引量から計算した額に達しないときは、その差額（荒茶取引量から計算した額－徴収代行額）を茶市場負担の茶業振興費として茶市場が会議所に納入する。

(2) 県内茶市場外（県内茶商工業者）で取引した茶

荒茶割 3 円を茶商工業者が徴収代行し、茶商工業者は買入割 3 円を加算して 6 円を会議所に納入する。

(3) 茶生産者が県内茶市場、県内茶商工業者等以外（直売又は県外茶市場、県外茶商工業者等）に販売した茶については 1 kg 当たり 6 円を茶生産者が会議所に直接納入する。

(4) (2)、(3)については、茶業振興費の徴収額（推定額）を割当てることができる。

3. 納入方法

茶業振興費の納入は、7 月、9 月、12 月、2 月の各月末日に各期間分を会議所に納入し、2 月末日以降の分は年度末に納入する。

4. 付 則

(1) この規定は、毎年度の会議所総会において当該年度の実施について承認を得なければならない。

(2) この規定は、平成12年度産茶から実施する。

[振 込 先]

（郵便振込の場合）

口座 00870－6－91091

口座名義 三重県茶業会議所

（銀行振込の場合）

百五銀行県庁支店 普通預金 No.3310

口座名義 三重県茶業会議所 会頭 中嶋 正

和のこころを伝えるパッケージ

お茶の小袋、茶缶、ギフト箱、シール等を取り扱っています。

総合カタログもございます。お気軽にお声がけ下さい。

お電話・FAXの際は、お名前、住所、電話番号をお願いします。

茶袋・茶缶・ギフト・シール・その他各種商品企画制作



株式会社 **タマヤ**
三重県総代理店

有限会社 **村 幸**

〒515-0025

三重県松阪市和屋町330-4

TEL(0598)28-2250

FAX(0598)28-4778

(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

大事な茶樹を病虫害から守る！！

三重県農薬商業協同組合

理 事 長 青 木 邦 夫

副 理 事 長 中 村 剛 明

副 理 事 長 加 藤 眞 八

事 務 所 津市桜橋 1 丁目649番地

T E L 059-225-7617

F A X 059-225-5341

おいしいお茶に最適の肥料を!!

三重県肥料商業組合

理事長 加 藤 眞 八

津市桜橋 1 丁目649番地

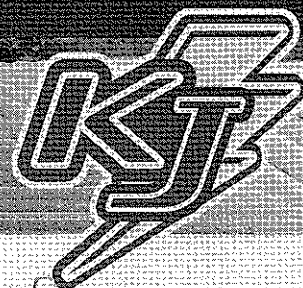
☎ 059-225-5341

御用命は下記組合員を御利用下さい

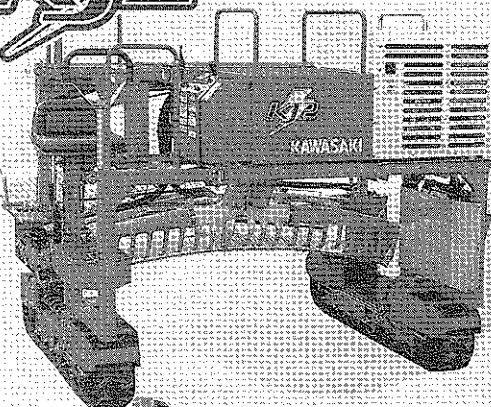
桑 員 地 区	鈴 峰 地 区	中 部 地 区	(有) 中 西 肥 料 店 0596-58-3116
(株) カネ八商店 0594-22-2350	岡 田 肥 料 店 059-382-1719	(有) 小 島 肥 料 店 059-227-5148	(有) は た き 0599-55-0074
北 勢 産 業 (株) 0594-72-2580	(有) 後藤庄兵衛商店 059-378-0018	野 村 商 事 (株) 津営業所 059-225-9230	伊 賀 地 区
村 田 肥 料 店 0594-48-2126	(株) 川 北 商 店 059-374-1055	中 條 肥 料 店 059-245-5888	(株) 堀 川 商 店 0595-21-0751
永 井 商 店 0594-48-6222	藤 井 農 場 059-378-0561	岡 山 肥 料 店 059-268-2438	野 村 商 事 (株) 伊賀上野(営) 0595-21-1303
三 泗 地 区	服 部 肥 料 店 0595-82-0527	南 勢 地 区	藤 森 農 機 店 0595-42-1138
九 鬼 肥 料 工 業 (株) 059-352-5151	今 田 肥 料 店 059-374-0067	丹 羽 商 事 (株) 0596-24-2334	紀 州 地 区
今 谷 商 事 059-331-8121	伊 藤 肥 料 店 0595-96-0064	(株) 西 田 商 店 0598-21-2235	(株) ガーデントテシマ 0597-89-2533
川 村 肥 料 店 059-326-4131		(資) 積 木 商 店 0598-85-0808	(株) 上 森 農 機 0597-92-2355
橋 川 肥 料 店 059-326-2230		中 西 肥 料 店 多気店 0598-37-2127	
若 林 商 店 059-345-3244		岡 村 肥 料 店 0596-58-2011	
		(有) 小 牧 肥 料 店 0596-58-3126	

KAWASAKI

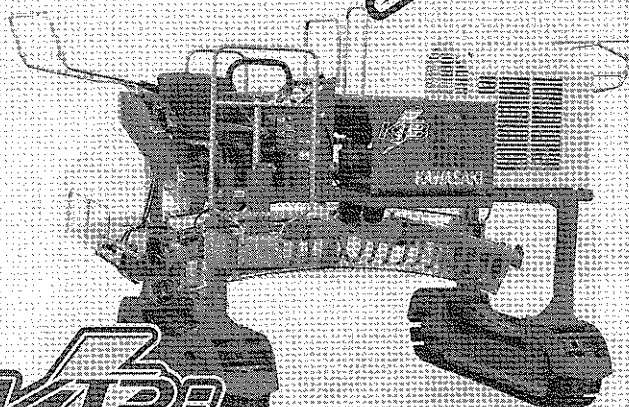
カワサキ乗用型 茶園管理機シリーズ



茶袋交換型 フレーム巾可変
ガソリンワンエンジン採用で
小型化&軽量化を実現。
畝巾に合わせた簡単可変機能付き。



茶袋交換型 フレーム巾可変
可変型/固定型
KJ4の機能で低床設計。
ゴムクローラー/鉄クローラー型 運転席が低くなって安心作業タイプ!

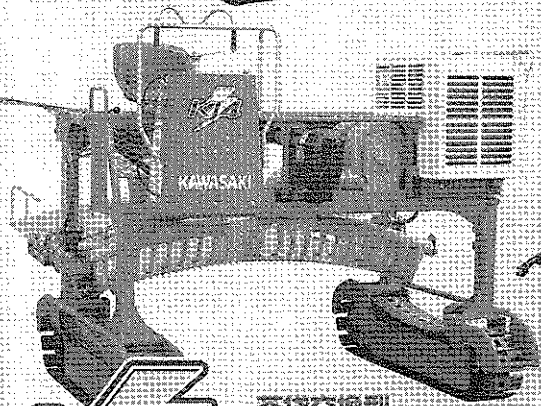


新発想のスリットジェットシリーズ!

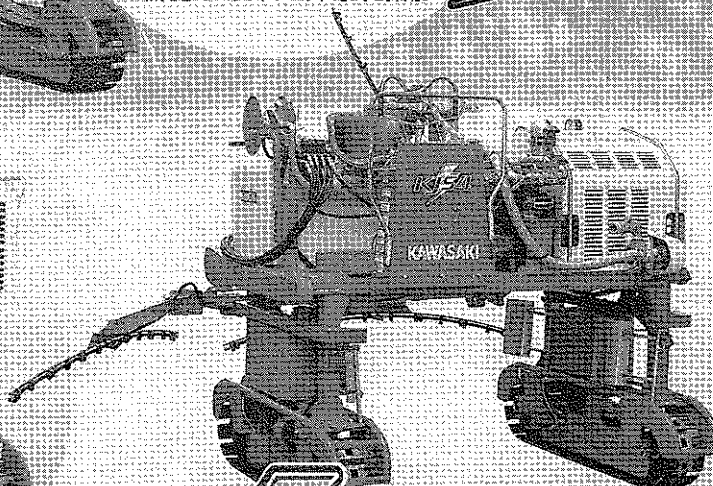
コンテナ型 フレーム巾可変
従来の風送管をやめて、刈刃の直後に
設けられた隙間から勢いよく風を噴出する
新発想のスリットジェット方式を採用。



NEW



茶袋交換型
小型トラックで運べるコンパクト設計。
低重心走行体で傾斜地での安全対応を実現!



乗用型防除機
フレーム巾可変
可変位置無段階調整で、
ブームは常に中央をキープ。

カワサキ機工株式会社

●本部 〒436-0005 静岡県掛川市伊達方滑川
TEL.0537-27-1712 FAX.0537-27-1716

URL: <http://www.kawasaki-kiko.co.jp> Mail: info@kawasaki-kiko.co.jp



ISO9001
認証取得

OCHIAI もっと手早く、高度な作業。さあ、あなたの茶園に確かな未来を築こう。



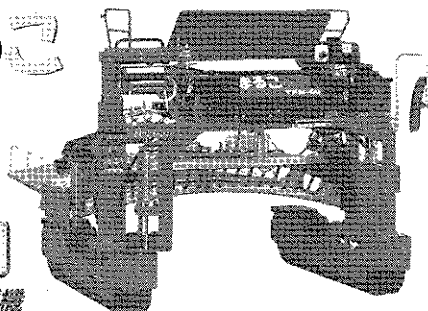
低価格！
軽量・コンパクト！！

まるこ

NEW

乗用型摘採機

TFS-02型

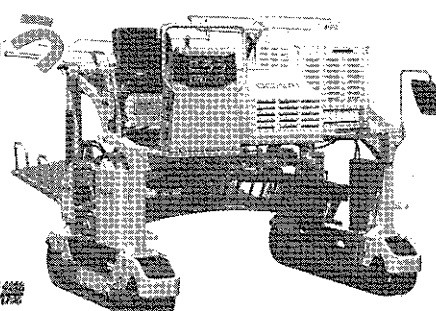


ディーゼルワンエンジン
軽量低床タイプ！

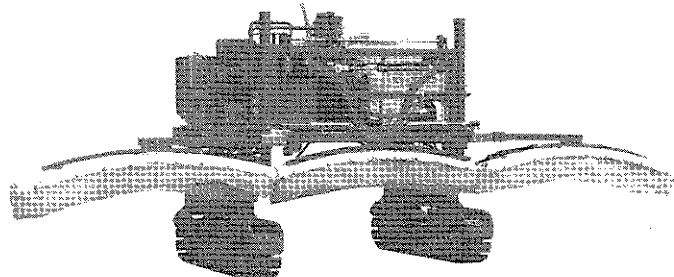
ごろう

乗用型摘採機

OHL-5DS型

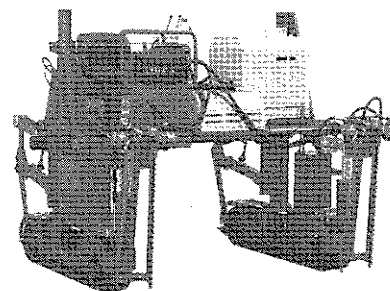


両側伸縮1600～1850mm。
ブームを垂直昇降機構採用



乗用型防除機 **OMS-7F型**

アタッチメント交換新方式取付キャッチ
装置採用



乗用型小型管理機 **OMR-5型**

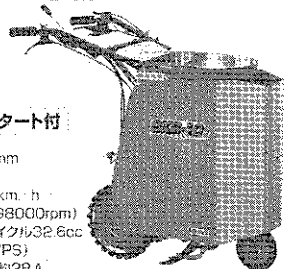
●アタッチメント 粉砕剪枝機、サブリナー、両側刈機、肥料散布機

肥料&カルチ
SKR-10型

NEW

スタート付

■耕起深さ/70mm
■重量/52kg
■走行速度/2.1km/h
(E/G8000rpm)
■エンジン/2サイクル32.6cc
(1.7PS)
■ホッパー容量/約20ℓ



クランクカルチ
KR-30E型

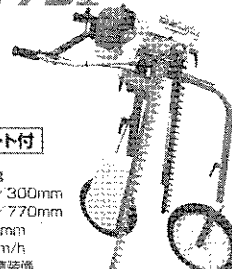
■全長/1130mm
■全高/1050mm
■全幅/560mm
(カバー部325mm)
■重量/63kg
■エンジン/空冷4サイクル
OHVガソリン
■走行速度/高速2.1km/h
低速1.6km/h
後退1.7km/h
■バックギア付



自走式両面裾落し機
EW-17D型
880

スタート付

■重量 22.3kg
■上部最大刈幅/300mm
■下部最大刈幅/770mm
■最小刈幅 75mm
■走行速度/2km/h
■補助車輪 標準装備



※本機の仕様は改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。



茶摘機・茶園管理機

落合刃物工業株式会社

本社・工場/静岡県菊川市西方58 電話0537-36-2161(代)FAX35-4643
関西岡山営業所/三島県岡山市布衣町宇山之下1500 電話(岡山)0595-92-0505
九州福岡営業所/福岡県八女市大字室岡449-1 電話(福岡)0943-25-7010
九州鹿児島営業所/鹿児島県霧島市清辺町崎森2958-1 電話(鹿児島)0995-64-1122
<http://www.ochiai-1.co.jp/info@ochiai-1.co.jp>